

PRESS RELEASE 第3回今井忠水産加工振興賞受賞

食が人をつなぎ、人が食をつなぐ

2018(平成 30)年 6 月 5 日



株式会社合食 <http://www.goshoku.co.jp/>

第3回今井忠水産加工振興賞「奨励賞」を受賞

今年で設立70年を迎え、函館とゆかりの深い株式会社合食(代表取締役社長 砂川雄一)は、平成30年5月7日に行われた第3回振興賞選考委員会の審査の結果、第3回今井忠水産加工振興賞の「奨励賞」に選ばれました。同年6月4日、如水会館(東京・千代田区)で行われた授賞式で、表彰を授与されました。

同委員会の選考理由は次のとおりです。昭和21年4月、創業者の砂川憲一が「砂川商店」を立ち上げ、函館で干スルメの買い付けを開始し、イカ加工の中間製品であるソフトダルマの製造ノウハウを産地の加工業者に伝達し、ソフトさきいかの増産と大衆化に大きく貢献した。自社製品のラインナップも、珍味から惣菜まで豊富で魚食文化の広がり尽くしている。さきいかの技術を開発するなど、函館における加工食品の発展に寄与した。平成24年、グループ5社を経営統合した。アジアや南米でのイカ原料の開発や調達をいち早く手がけ、イカ原料の安定供給を支えている。



「長年にわたり水産加工にスポットを当てていただいた、今井忠様の果たされた功績に感謝いたします。昭和36年に食品製造に参入しサキイカを生産して以来、鮭フレーク、天ぷら珍味、水産冷凍食品、生珍味の製造などを50年以上も続けてきました。近年、食の外部化への変化はめまぐるしく、加工食品のニーズは日本だけでなく、世界中に広がってきました。今井忠様の水産加工への熱い思いを受け継ぎながら、当社も水産加工のリーディングカンパニーをめざして、全社員一丸となって取り組んでまいります」
(砂川社長)

今井忠水産加工振興賞は、水産庁および大洋漁業株式会社(現・マルハニチロ)勤務を通じて、日本の水産加工業の発展に尽力し、「いまちゅうさん」の愛称で敬愛されてきた今井忠氏が水産加工業の振興をはかるため、私財を提供して設けたものです。

(写真・左/今井忠氏、右/砂川社長)